

野洲市民病院整備に関する市民懇談会⑤ 報告

日時：令和4年6月27日（月） 午後19時～21時20分

場所：コミセンみかみ

【小池】

皆さんこんばんは。

予定していました時刻となりましたので、市民病院整備に関する市民懇談会を開催させていただきます。

私は、本日、司会進行を務めます、政策調整部次長の小池でございます。よろしくお願いいたします。

本日の市民懇談会は、野洲市民病院整備に関する新たな場所と方向性について、説明をさせていただきます。その後、皆様との意見を交えていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

開催にあたりまして、記録等の作成上で、写真撮影と発言内容の録音などをさせていただきますので、ご了承いただきますようお願いをいたします。

それでは初めに開会にあたりまして、市長の栢木よりご挨拶申し上げます。

【市長】

皆さんこんばんは。野洲市長の栢木でございます。

どうぞよろしくお願いいたします。

本日はお忙しい中、野洲市民病院整備の市民懇談会にご参加いただきまして、誠にありがとうございます。

開会にあたりまして、ご挨拶を申し上げます。

皆様方には、平素から野洲市のまちづくりの推進に、格別のご高配を賜っておりますことに対しまして、心からお礼を申し上げます。

さて、本日は、本年1月14日に熟考を表明して以降、ご心配をおかけいたしておりました野洲市民病院の新たに見定めた整備場所と、その実現に向けた推進方策等を、お手元の資料に基づき、ご説明させていただきます。

その前に少しお時間をいただき、この新たな方策をお示しするまでの経過と、その都度の私の判断の内容について、述べさせていただきます。

これにつきましては、本日皆様にお配りいたしました資料の中に、私からのメッセージと題した紙を入れておりますので、ご参照いただきながらお聞きいただきたいと思います。この次第のところでございます。ここに書いてございますので、またご参考にしていただけたらありがたいと存じます。

それでは、私は令和2年10月の市長就任において、駅前にはぎわいを創出し、税収を図る場とし、そこでの新病院整備を行わないことを申し上げ、市民の皆様からのご信任をいただきました。そして駅前整備の代替案として掲げていた現地建替えについて、就任後、すぐに公的な検証を行っていただきました。

その結果は、建築技術的には可能ながら、医療を運営しながら施工するということは困難というものでありましたことから、やむなく断念をいたしました。そこで立ち止まることなく三つの候補地を、令和3年5月には駅前 B ブロックで病院を整備することに優位性があると判断をいたしました。

このとき私が B でと判断した最大の根拠は、駅前以外の場所で整理しようとした場合、病院事業債の一括償還や社会資本整備総合交付金の不交付などで財政的な負担が大きく、昨年今頃、当時の市や病院の資金状況では対応できないとする試算結果を是と判断したことでございました。そして、評価委員会の先生方から、埋蔵文化財の包含地であることや、市の関係計画等との調整に時間を要することから、病院の早期整備を望む市民の願いに応えられないと進言されたことや、当時の市議会の状況を見て、B ブロックであれば市議会に委託された駅前を望む民意にも添えると見込んだためでございました。

しかし10月に状況が大きく動きました。市議会議員の改選により、議会の総意に変化が生まれ、本年1月5日には市議会の最大会派から B ブロックにおける病院整備を速やかに断念し、新たな用地に整備すること等の要望書が提出されるに至りました。

また、同じころ鋭意検討を進めていた駅前 B ブロックでの新病院整備の計画の草案が上がってまいりましたが、駐車場がわずか40台で、車寄せも少なく動線も極端な縦型となってしまう。その内容を見て、これでは市民の医療を持続的に担える病院となり得ないのではないかと憂慮するに至りました。

そして、そもそも混雑しがちで、市内各所からの車でのアクセスが困難な駅前に、全ての市民に公平に使いやすくあるべき市民病院を整備してできるのか、また野洲市全体のまち作りの拠点というべき駅前南口に本当に病院が最適な施設なのかと、改めて思いを巡らせるようになり、1月14日、別の選択肢も視野に、市長執行部として熟考すべきと判断したものでございます。

熟考当初の頃は市民の皆様や議員のご意見、その他、野洲市内の開業医の先生を含む複数の医療関係者の方からもご提案やアドバイスをいただきながら、野洲市の将来に禍根を残さない、最良の選択を目指し、B ブロックも対象に検討、熟慮しておりました。

しかし3月議会の終盤に、野洲駅前 B ブロックでの病院整備事業の早期再開についての決議案が提出され、3月25日、賛成が7人という少数で図らずも否決されてしまうことが起きてしまいました。

私はこの B が否決されたという事実を極めて重く受け止め、そして4月に入り、今日お示しする内容で整理するよう、地域医療政策課に指示したものでございます。

今回ご提案申し上げる新病院の整備場所は、野洲市総合体育館の温水プール跡地です。

この場所は、昨年検討した三つのうちの一つの体育館裏と近接し、一部重複する場所ですが、優位点はそのままに、当初で問題とされていたいくつかの大きな課題をクリアできる場所であると考えております。

そして何より、本市のほぼ中央に位置し、市内各所からの車でのアクセスに優れ、市街化区域に隣接した利便性の高い場所であり、新病院の優良な整備場所であると考えております。

この提案は本市のまち作りに関わる政策の大きな変革であり、新病院整備と駅前のにぎわい作りという2つの大きな課題を、健康を基軸としながらも事業としてはすみ分けて推進しようとするもので、市民の安心と安全を支える中核的医療の確保を確実なものとしつつ、駅前でのにぎわいと税収を生み出す可能性を広げ、希望の持てる持続可能なまちの創造を可能とするものです。

本日はこの新たな方策の内容をお聞きいただくことで、これまでご心配いただきご懸念いただいていたことも払拭していただけたらと思っております。

長くなりましたが、本日は本計画の実現に向け、皆様方には忌憚のないご質問やご意見を賜りたいと考えておりますので、よろしくお願い致します。

以上お越しいただいたことへのお礼と冒頭のご挨拶といたします。

このあと、内容を担当部からご説明申し上げますので、よろしくお願いを申し上げます。

【小池】

それではここでお時間をいただきまして、事務局を紹介させていただきます。

野洲市長の栢木でございます。

【市長】

どうぞよろしくお願い致します。

【小池】

副市長の佐野でございます。

【副市長】

どうぞよろしくお願い致します。

【小池】

健康福祉部政策監の布施でございます。

【布施】

布施でございます。病院整備を担当させていただきます。

よろしくお願い致します。

【小池】

同じく健康福祉部の次長の駒井でございます。

【駒井】

駒井でございます。

よろしく願いいたします。

【小池】

政策調整部長の赤坂でございます。

【赤坂】

赤坂でございます。

どうぞよろしく願いいたします。

【小池】

改めまして。私は調整部長のご意見でございます。

その他、地域医療政策課、企画調整課の職員3名が本日出席をしております。名札を着用しておりますので紹介は省略をさせていただきます。

それでは市民懇談会に入らせていただきます。

お手元の資料の、野洲市民病院整備の新たな方策につきまして、地域医療政策課より説明を申し上げます。

【 以下、説明部分は省略 】

【小池】

それでは、ここから皆様からのご意見ご質問等いただければと思います。

今から予定時間概ね8時半をめぐりに進めてまいりたいと思います。順番にお伺いをいたしますので、その場で挙手をいただきましたら係りの者がマイクを持っていきますので、ご発言をお願いします。

なお、限られた時間でございます。ご質問とご意見は可能な限り、今説明いたしました内容から大きく離れることがないようにお願いしたいのと、また多くの方からご意見いただきたいと考えておりますので、まずは1人1問で、基本的にお伺いをいたします。

【市民】

説明は50分と言ったのに、10分オーバーしてますよ。早くしなさいよ。

おかしいと思いませんか。

【小池】

当初の予定でしたので、あくまでも目途ですので…。

【市民】

いや、違う。先にそれを言うべきですよ。

【小池】

すいません。延長します。はい。申し訳ございませんでした。

【市民】

40分と言ったんですよ。

【小池】

それは申し訳ございませんでした。

【市民】

それを先に言って、こちらは30分しかない、1問しかないということは、先に言わんとあかんじやないですか。

【駒井】

説明の時間が超過しましたこと、誠に申し訳ございませんでした。

【市民】

そうですね。

【駒井】

お詫び申し上げたいのと、プラスですね、プラス延長を…。

【市民】

早くね、進めてくださいよ。こっちの意見を、ともかくね、早く聞いてください。

【駒井】

はい、ありがとうございます。

【市民】

まずね、僕に言わせていただきたいのは…。

【市民】

おかしい。

【市民】

あなたが40分で終わるということ、その次に質問は1人一つだということ、言わないとまずいですよね。

【小池】

なおですね、ご発言の際にですね、ここはお願いでございますが、お住まいの地域と名前言っていただければと思います。

それでは、申し訳ないです。始めさせていただきます。

お待ちくださいね。マイク持っていきますね。

【市民】

すいません。地元から参りました■■■■と申します。

今、説明の時間が長かったということもあるんですけども、それぐらい資料が多かったと思います。私もいろいろ言いたいことあるんですが、まず、市長のお兄様が長野善光寺の貫主に就任されたということで、おめでとうございます。滋賀にとっては良いニュースだったかなと思います。

先ほどちょっと資料が多いというふうに聞いたんですけども、これ市長が今年の初めに熟考に入ると言われてからこの資料作成をされたのか、資料ができるのを待って熟考ということになったのか。何か順序が逆のような気がするんですよね。場所を決めてから案を作るというのが、一般的なやり方なんですけども、場所がまだ決まってない、市民の同意がないのに、もう病院あるべきというような状態になってるのは、非常に問題かなと思うんですね。これは市長、市長か、市民を置き去りにしてるという、いいようがないですね。

それからですね、熟考に入られる前、去年の市議会議員選挙がありましたけれども、その後のびわこ放送の報道で、もう市長会派の、市長与党会派の議員さんが、病院はいらないとか、病院は郊外に持っていくべきだというふうに、その時点でもはっきり意思を表明されてるわけですね。なのに年越えて、今まで時間をかけて熟考だと。結局、私から見れば、資料を作るために待ってた。先にもう体育館が決まっていた。ということで、熟考ではないですよ、これ。先に決まってるから、体育館のプール跡地へ持っていくから、お前ら案を作れというふうになってるんですよね。手順として、まず最初に候補地を選んでから案を立てるとというのが、我々民間人ですが、民間の手法だと思いますけども。

この間、さざなみホール、文化ホールの集約という会議、集まりがありましたけれども、そこで教育委員長さんもおっしゃって、いろいろ説明していただいたんですけども、委員会で決定しましたと仰ってるのに、その提案の検討をしてくださいと。これも順序が真逆さまなんですよ。皆さんといろいろ膝突き合わせて検討した結果で決めていくんなら話はわかりますけども、先に委員から答え出しておいて、これで進めます、はいどうですかって、これはちょっと即納得できないし。文化の拠点をね、野洲駅前から飛ばしてしまうのは、到底納得できない。ということは、なぜ文化ホールを潰さないかんのかというところで、いろんな憶測があると思うんですけども。ちょっと疑問に思うわけですね。

先ほど、面積大きいとありましたけども、ABC 今度、文化スポーツのゾーンと決めてる文化ホールの跡まで売却するのかどうか、非常に心配しとるわけですよ。これ市の財産なんでね。勝手に売られちゃったら困るんですよね。進め方が、何回も言いますが、逆です。

まず場所をどこに決めたらいいですかという市民に問いかけをして、それでいろんな意見を集約して、体育館がいいならいいんですけども。逆に体育館ありきで、こういうプランを立ててきて。一番早いのは、駅前のAブロックに病院建てるのが、一番早いんですよ。なぜAブロックじゃ駄目なんですか。

長くなりましたが、いくつか言っているんで、市長の方から回答いただきたいと思います。

【駒井】

まず、事務的なことから。今回の資料ですけれども、作成は、私も4月1日から辞令をいただきました。政策監もそうです、その他の課員も同じでございますが、4月1日から、パソコンを開いて資料の準備を開始いたしました。

市長から受けていた指示は、大きな方向性として、総合体育館のあたりで検討してくれということでございました。我々の事務仕事として何をしたかといいますと、まずリサーチをしました。そして課題を集めました。で、検証しました。で、概ね大丈夫だという見込みが立ったら、エビデンスを固めました。そういった流れで、順番を立てて作った資料です。約1ヶ月で作成を、資料として1ヶ月で作成をしたのが、今回の資料でございます。これは事実でございます。大きな方針を示されて我々がリサーチしてエビデンスを集めたと、申し上げておきます。

事実本当のこと申し上げますけれども、最初我々4月1日に指示をもらいまして一番最初に見に行ったのは、体育館の裏でした。裏の駐車場にどういった病院が建てられるかを、一生懸命考えました。ところが、そこは文化財の包含地にかかりますし、地盤も低い。様々な障害がある。接道も5mに満たない、下水道の管は75mmしかない。これでは駄目だと、肩を落として帰ろうとしたときに、今の新しい体育館横に更地があるじゃないかと気付いた。これはリサーチの結果、たどり着いたということでございます。

そういった形で、大きな方針を、我々職員が組織として受けて、組織としてきちっと検討して、ご提案をさせていただいたのが今回の案ということで、ご了解いただきたいと思います。

あと、Aブロックでは何故駄目なのかということにつきましては、政策的な問題ですので。市長の方からと思います。

【市長】

なぜAブロックでは駄目なのかというご質問でございますが、当初のご挨拶の中でも申し上げましたけれども、令和2年10月に市長に当選させていただいたときに、駅前Aブロックで贅沢な病院を造るのに反対をして立候補させていただいて、市長に当選させていただきました。当然のごとくAグループでは病院を整理しないということは、一貫して申し上げておりますので、Aブロックに病院を整備することは、私は考えておりません。

以上でございます。

【市民】

あのね、ちょっと時間の関係でね、発言、質問の発言にいかんとか、逐一、やりとりをするのか、そういうことを言ってもらわないと。後で、その質問しようとしたときに、打ち切りになりますよね。そこら辺はどういうお考えですか。

私質問したいんだけど、まずそういう…。

【小池】

できる限りね、多くの方からご意見いただきたいので、1問ずついただいて、1問ずつお答えさせていただきます予定でございます。時間残りでしたらね、次、2回目3回目と回したいと思います。

【市民】

私は体育館のすぐそばの八夫というところに住んでいます。■■■■■■■■■■で、いわゆる物理学者です。そういう立場から、基本的にね、私は賛成なんです。賛成なんですけど、いくつかの疑問を、疑問点があって。

送電線がありますよね。電磁シールドの部分ではいいんだけど、落雷のね、問題があったときに、いわゆる誘導雷がパーっと出るんですね。電子機器がやられるとか、そういうような問題が出てくる可能性があります。

だから、そこら辺はいろんな情報を集めていただいて、そういうことがないように、つまり手術中に電源がアウトになったとか、予備電源はあると思いますけど、そういう問題も生じますので、それちょっと考えてもらう必要があると思います。

最初に言われた駐車場ですね、体育館の裏。あそこは、私は近くの八夫に住んでるんですけど、畚波甲だってですね、沼地だったんですね。だから、こんなところに建てるもんだから、いわゆる液状化はね、まず起こると思ったんです。それが横へ移動するというんで、私はよかったと思っています。

ただ、体育館は、私、すぐそばに童子川を隔てて、家の田んぼがあるんですね。私、農業やってるんですけど、見ると、中体連とか高体連ね、あるいはなんかいろんなイベントで来るときがあります。何もウィークエンドにあるわけではありませんでね。そういうときに、駐車場が満杯になる可能性があると思ったんですね。ですから、そこら辺、予備的にですね、駐車場を確保するとか、そういうことも必要かなと思います。

それと最初のご説明とちょっとずれたと思うんですが、費用の点でね、整備費が必要というところで、ページ数は左下に10ページと記載されているページですね。10ページの用地取得費(病院棟)等々がありますけど、ここは市の土地で無料とおっしゃったのに、これ何でいるんかなという感じがしました。

今の所はそれぐらいです。基本的に賛成です。

【小池】

ありがとうございます。あの、お名前だけ…。

【市民】

すいません、八夫の■■■■■■■■■■といいます。

【駒井】

■様、ありがとうございます。

落雷のリスクにつきましては、また設計に入った段階で、電源装置等々を含め専門のと調整をして、リスクを回避する…。

【市民】

予備電源だけではないです。誘導雷の影響があります。

【駒井】

承知しました。ありがとうございます。この辺りはクリアできる問題と考えています。

あと駐車場でございますが、おっしゃいますように、年間約20回、平日でも相当台数の車が入ってくるのことでございます。これについては中体連、高体連とおっしゃいましたように、リストで全部調べてございます。基本的にはすべて主催者がはっきりしている大会でございますが、生徒は、中体連、高体連だと、観光バス、あるいは野洲駅北口から歩いて来ます。問題は車で来られる、応援する保護者の方ですが、これコントロールする手法として、他所の体育館でもやってるんですけども、主催者を通じて参加する学校に駐車証を渡す、その限りで、台数の限りでご来場ください、あるいは各校で事前に乗り合わせて保護者の方はご来場くださいと。こういった工夫を、他所の体育館はされてますので。

確かに野洲の場合は540台の駐車台数があったので、そういった工夫を今までせずにやってくることができた。ただ、栗東の体育館だと、わずか70台とか80台。草津のグリーンスタジアムの横にある体育館でも170台程度。そういった体育館は、すでに、そういう工夫をされておられます。そういったことで、野洲の体育館でも新たに工夫をしてやっていくと。無限に土地を求めていく考えじゃなくて、そういった手法でこれからは対応していくべきではという考えでございます。

あと、この資料で用地費が載っているところでございますけども、これは駅前の場所は、冒頭申し上げましたように、全額借金で新たに市が購入した土地、平成25年に購入した土地でございます。従いまして、それがいらなくなるということで、マイナス3億3,500万円、マイナスの4億3,000万円になるという積算でございます。

以上でございます。

【市民】

三上の■でございます。

昨年、野洲の■をしておりまして、評価委員会のメンバーにも出させていただいてました。

評価委員会のときは、ちょうど私が出たのは、駅前にするか、さざなみホールにするか、この体育館にするか、それを決めるときでした。

今回、本当に二つに分かれた問題ですがね、病院を造るということは、勤皇も佐幕も同じように非常に造りたいと言うてるわけですから、そういう意味ではいい方向に進んできたというふうに思います。

病院の問題については評価委員会などです、きちりとこれから議論をしていただいて、どんな病院が良いかいうことを決めていただいたらいいというふうに思ってますので、ぜひ揺るがないで、今後、進めていただくようにしたいと思います。お願いします。

【小池】

すいません、ちょっと後ろ手挙げてもらってましたんで、先に後の方にいきますね。

【市民】

8時半までと先ほどおっしゃいましたけど、案内では7時から9時までとなってたんとちゃうんですか。9時までって、広報では全部、ホームページもなってるじゃないですか。9時までやりなさいよ。いいでしょう。その方が沢山の方が質問できるもん。

私、近江富士の■■■■と申します。

先ほど市長がですね、市長選挙のときに、駅前のAブロックはですね、病院造らないと、商業施設だと言って当選したとおっしゃったんですが、もう一つ重要なデータがありましたよね。現地で半額で建替えと。こうやってね、騙されたっていう方ね、いっぱいいらっしゃいますよ（拍手）。ね、これだけ拍手された方、結構いらっしゃるわけですよ。

それからね、最初の挨拶のときもおっしゃったけど、去年の10月の市議会選挙でね、趣が変わったとおっしゃったけども。これはですね、この前、ちょうど選挙の直前ですね、投票の直前に、あの団体の方から、病院実現の会ですかね、そこから公開質問された。ところが、これへの回答ですね、会派まで出して悪いけども、創政会の皆さんは全員、無回答です。ね。Aブロックの商業施設も無回答。それでね、「病院のこと全然触れずにされたんですな」という話をね、実はこれまで3回出てるんですが、初回のときに市長に申し上げたらね、市長がね、「いや集会では病院のことも触れてましたよ」とおっしゃったんだけど。実は実現の会の集会がこの前ありましてね、そのときにこんなことを市長から言われたと言ったら、別の方がですね、ちょっと耳打ちして下さったんですが、「いやいや、あなたたちね、駅前の病院のこと言っていましたよ」と。だからね、いい加減な話なんですよ。民意だ民意だと、市長、しきりに仰るけども、市長はね、けっこう民意を無視しておられると思います。だからね、この資料をですね、今回の説明資料ね、さっと聞いてますとね、おおなるほど、いいプランだなと感じちゃいます（拍手）。

ところがですよ。よく見てるとね、いろいろ問題がありますよ。都合のいいところはですね、うまい具合にね、強調するような形で。ところがね、そこら辺に出てきてる数字でですね…。

【市民】

すみません！誰が話してくださってるのか分からなくて、今探してるんですけど。

【市民】

聞こえませんか？すみません。もうちょっと大きい声でしゃべります。

【市民】

私も今まで、広告がいっぱい来まして。あの、ずっと読んできましたが…。

【小池】

ちょっとお待ちくださいね、次、次お伺いしますんでね。

【市民】

例えばね、体育館の場所ですね、駅から2.2kmと書いてるんですが、Googleの地図で調べましたらね、マップで調べましたらね、2.9kmありますよ。それとかね、私は近江富士ですがね、先ほど調べたら10分で行けたと、職員さんがね、調べていただいたら10分で行けたとおっしゃったんだけど、実は資料、議会で出された資料ですとね、12ページですかね、10分から15分と書いてあるんですよ。私、現実にはね、近江富士から体育館の前の交差点ありますよね、あれ富波甲ですかね、あそこの交差点の角でね、ちょっと先ほど、毎日通ってたんですよ。そこでね、13、4分かかるんですよ。だから、ほぼ体育館と同じぐらいの距離ですよ。それがね、10分で行けるって、よっぽどね希望が丘の道をね、ぶっ飛ばすかどうかでないに行けませんわ。そういう具合な問題がある。

それから事務の問題でね。私ね、可能性検討委員会で、これはね、市の方がこうこうだって言うからね、追認しただけだとおっしゃってるんですが、おっしゃったということなんです、実は、議事録を確認したと書いてたんで、読んでみたんですよ。そうしたら、そうしましたら4回目ぐらいかな、この場所の問題、駅前かどうかという話が出たときに、このときの、確か委員長がですね、おっしゃってる。ちょっと長めに読みますよ。「商業施設が周辺にあるとなれば病院に行った後に生活用品などを買って自宅に帰れます。バスなどの公共交通機関が利用しやすいというのも強みであると思います。誰もがいずれは高齢者となり、今まで自動車を運転できていた人もいつまでも運転できるわけではありません。そう考えると公共交通機関との連携が非常に重要です。用地費用は高額になるかもしれませんが、利便性や将来性を考えるならば、やはり野洲駅周辺が望ましいのではないかと思います。また、病院整備と合わせて地域住民が（以下、省略）」とありましてね、最後締めくくられるのは、「このような施設と一体化してまちづくりをしていけば、自ずと人が集まり患者も増えてくる可能性があります。したがって、私も野洲駅周辺で整備した方がいいと思います。」はっきりと意思表示なさってるんですよ、柏木委員長ね。

ところが、先ほどの資料ではね。まるで、委員会とかはね、市が強引に言ったから、前の市政がですね、市長がね、強引に言ったからそれに従ってたんだと、追認されただけやという表現でしたけどもね。こういう具合にですね、自分に何て言うのかな、都合のいいふうにとれるときは、うまい具合にね、時間も短く、距離も短くしたり。そして、今のようですね、委員長のうち、これ重大なところでしょう、なぜ駅前かということに関するね。当時の委員長はね、公的なお立場で、私最初

読んだときにね、この委員長でこういう公的な立場でものを仰ってるのに、今になってそんなことをおっしゃるのかなと、非常に疑問に思いました。それで議事録、読んだんですよ。そしたらこれが事実ですよ。事実を歪曲してます。表現なんてのは。

それからね、いろいろ私ね、もうちょっといっば言いたいことあるんだけど、他の方もありませんけど、もう一つだけ聞かしてください。

明日、予算を議会で結論出されますよね。実は、私2月にですね、しばしば市長宛にですね、いろんな疑問もございましてね、意見をお出ししてるんですが、そのときの回答、2月25日にいただいたんです。早期実現のため、職員や病院長はじめ病院スタッフとも協議を重ねた上で決めていきたいということをおっしゃってるんです。

ところが、今回のプラン作るのについてですね、病院長あるいは病院の事務長とか関係者のね、意見何も聞かずして、そして一方ですね、病院顧問それから事業管理者を任用すると。その予算を、なんと事業管理者については2,500万円らしいですね。追加予算か年間分なのか知りませんが。こんなのね、よく言えたなと私は思いますよ。ね。

それだけでなくね、財政が厳しいんだと、いろんなことをね、始末していかないかんだと。公共料金も結構上がってね、10月から。いろんな利用料金とかね。そんなことをやりながらですよ、片や、そんなね、病院長との意見も聞かずして、そして新たな人を雇用する。どんな方が雇用されるのか知りませんがね。

だからね、私ね、今日もね、議員さんいっばい来ていただけてますね。私ね、賛成するぞと思っておられる議員さんはね、ぜひよく考えていただきたいとしますよ。本当にね、市長が言ってるね、財政厳しい、いろんなことに始末せんといかんと。市民に色んな負担を新たにかかけたりしてしながらですよ。なぜ、現役の病院長とか使わないのかと。いうことだと思えます。

私、これがいっばいあるんですが、改めてね、市長への手紙出させていただきます。是非お答えいただきたいと思えます。

【小池】

ありがとうございます。

大きく二つのご意見、ご質問と思えます。

【駒井】

ありがとうございます。分かる範囲でお答えさせていただきたいと思えます。

まず車で10分ということでございますが、これは先週半ばでございますが、職員が2往復して測った数字でございます。場所は、総合体育館の入り口から近江富士町二丁目の信号です。そこまで、間違いなく2回とも10分で到達している。それがまず1点でございます。

もう一点でございますけども、可能性検討の委員長なんですけども。今、■■■さんがですね、おっしゃったとおりです。明らかに追認されてますよね。この場所がいいということで追認されている。実は、これは本人にも確認させていただいてますので、間違いございません。

もう一点でございますけども、これちょっと非常に私どもも憂慮してるんですけども、2,500万円という事業管理者報酬なんですけども、まさに数字が1人歩きしているというのかな、そういうふう
に思うんです。だから正確に申し上げます。2,500万円のうち600万円は、野洲病院という事業所の保険料負担、あるいは退職金、社会保険料の負担です。これも入れて2,500万円のギャランティというようプロパガンダされておりますけども、大変大きな間違いでございます。事業所として、社会に対する責任を事業者として果たすための、社会保険料負担でございます。ここは一つ押さえていただきたいと。あと1,900万円、残りますね。この1,900万円もそのうち1,100万円が、ドクターとしての、医師としての報酬でございます。つまり、このクラスの正規の医師が確保できるわけですから、それに1,100万円掛かってございます。結果、病院事業管理者としての報酬は、差し引き880万円程度でございます。今、2,500万円のギャラというですね、とんでもない数字が1人歩きしていることに関しましては、大変憂慮いたしているところでございます。

それと、最後でございますけども、病院のご意見を聞かずしてというふうにと何度かおっしゃったところでございますけども、私共、市長の命を受けて、病院の方に複数回、ご協議のお願いをさせていただいたりしました。しかし残念ながら。スタートラインに立っていただくことが叶わなかった。ということでございます。

以上でございます。

【市民】

なぜか。反対された？

【駒井】

はい？

スタートラインに立っていただけなかったんです。以上でございます。

【市民】

…考えてない？

…いうことちっとも聞きはらへんかった？…。

…スタートラインって何ですか？。

…やってもらえなかったって…？。

【小池】

そしたらすいません。その次質問…。

【市民】

すいません。私は反対です。だから、それぐらいの感じですよっていうのは…。全然わからない。

【市民】

質問です。三上の■■■■と申します。一つだけ。

そこ、最初出たところ、50年先の野洲市を見ずえてと出てましたよね。一番最初。で、高齢になるとか等々ありましたけど、50年先の野洲を見据えたということになってますけれど、そしたら5年後、10年後、15年後、50年後、どのようなスタイルになっているのかというのが、入ってないなど。となると高齢者のところ、病院に行かれる方、私は毎月1回2回、野洲病院に行っています。その中で患者さんの動向を見る、今までの経験として見ております。いろんな方に連れられて車で来た人、自転車で来る人、歩いてくる人、いろいろいらっしゃいますけれど、それが終わってから、なぜあそこにみんな来るのかなって、僕いつも不思議に思ってるんですよ。

そしたら大体の方がやはり、ゆうちょがある、銀行が、滋賀銀行ある、みらい銀行がある中信がありますよね。それはお金を下ろすついで、そして買い物、調剤薬局だとスギ薬局行く、クスリのアオキ行く、そしてもちろん、アルプラザ野洲にも行く。

そういったものを、今の、今度の計画の中に加えていただけるんでしょうか。ポツンとしたところに何もなくて帰ってくる。こことは違う、かかりつけの病院の方がいいんじゃないかとか、あの、僕は思うんですけど。公的なことはわかりませんが、私的なものとして、やはりついで、ついで、ついでっていうふうに、車で連れて行く人も考えるはずですよ。

ところが、あそこ、あそこそういうふうにまち作りとして。副市長に聞きます、4月から成られましたよね。そこまで考えてイエスと言っておられるのか、お願いします。

【市民】

そんなんね、あそこから…。

【市民】

私が、聞いてます。

【市民】

あたしは駐車したところで…。

【市民】

ちょっと、議長。

【小池】

はい。すいません、あの…。

【市民】

手を挙げない発言は、抑えてください。

【駒井】

よろしいですか、まず、今ご質問いただいた方…。

【市民】

僕は、副市長にと言ったんですけど。ご存じなかったら、副市長、来るべきじゃないじゃないですか。副市長はあまり経っておられないんで、伺いたいということがあったんですよ。

【副市長】

ありがとうございます。

今ご質問いただいたのは、おそらく病院、今の野洲病院に行かれるとき、特に病院だけではなくて、付近の銀行、買い物をそういうのもあわせて、病院に行かれる方も多いんじゃないかと。

【市民】

付随者の方も含めてですよ。

【副市長】

はい、なんていうんですかね、患者の方を連れて行かれる方と思います。確かに、そういう方も一定数いらっしゃいますけれども、やはり一番の目的は、私も特に父親の病院に通うのを連れて行ったりしておりますが、ただ、やはり高齢者を連れて行く場合は、まずは患者。患者っていったら変ですけども、私は父親の病院を最優先をしています。例えば病院を待ってる間に、自分の車で少し離れた薬局であるとか、スーパーに行ったり、そういうこともしておりますが。今回の場所も、私も野洲市内に来てこの2ヶ月半ですね、かなり、いろいろぐるぐる廻りました。そんなに大きなまちじゃございませんので、実際歩いたり、車で回ったりしました。

すると本当に今の場所、体育館を拠点に、少し車で行けばもうスーパーもございますし、そういう意味では、今おっしゃった行動範囲には十分可能な範囲ではないかなと。こう思って、私自身も、この場所に進めるという考えで同意しているという状況でございます。

【市民】

薬局はどないすんですか。

【駒井】

1点目のご質問に、私の方から答えさせていただきます。資料にございます50年先の野洲市ということでございます。

■ならご承知いただいていると思いますけど、先ず2025年問題がもう近々になってますね。団塊の世代が全て後期高齢者に到達する時代でございます。

その次の2040年問題、これもご承知いただいているかと思いますが、多死時代と言われている時代ですよ。2025年問題で後期高齢者になられた方が90歳になられる、多くの方が亡くなっていく時代ですよ。で、この方々、全部病院で亡くなるわけではないと思うんですけど、少なくとも何らかの形の医療のケアを経て亡くなっていかれる、こんなふうになります。

50年先までを段階的に10年20年とおっしゃったので、たちまち見通せるところで、そういったところのデータは当然市として把握してございます。

あと、この議論の中、全てそうなんですけど、我々の資料の作り込みもそうなんですけれども、どうもその外来というところに焦点が当たりすぎているように思います。外来も重要ですよ、重要なんです。そこから考えると市民への利便性が大変重要になってくるんですけど、冒頭申し上げましたように、野洲病院は中核的医療機関でございます。市は診療所を建てる話をしてるのではないんです。ですから、収益ベースで7割以上の入院医療をいかに確実なもの、市民の皆さんにお役に立てる医療にしていくか、こういったところに焦点を当てて考えた場合、今の場所は、十分有益性が高いし、医療的にもいい場所というように判断いたしましたところでございます。

以上でございます。

【市民】

三上の■■■■と申します。

すいません、予算のことでちょっと聞きたいんですけど。明日ですか、議会でいろいろ基本設計等の予算、証拠の予算、新しい病院でのという。議会に掛けて可決していければ、今の新しい病院のスタートが切れるというお話でしたけど、市長が選挙に出たときに、今の野洲病院は半額で改修できると。

それで、実際にあの意見なら、私ら住民でも、誰でも言えます。ただ市長になれば行政のドンでありますして、野洲市の最高責任者でありますから、それが今度はそのを否定して、今度はA地区は絶対に私の公約では建てませんと、先ほど言われましたですね、私はそれを公約としてA地区で絶対建てないということであれば、公約にある現状の半額で建直すというのも実現して欲しかったです。

それが、A地区だけは私の理念で建てない。仮に隣のB地区では建てる。ましてや、現状の病院を改修して半額では建てない。これでは、もうむちゃくちゃじゃないですか。野洲市のドンとして、これはもう滋賀県内の市町村のドンとして、これは市民として恥ずかしいんです。

それを言って市長がもう1回答弁してほしいのと、予算ですが、今、野洲病院の改修が無理なんで、前市長のA地区に対してB地区、隣のB地区をすると。AよりもBの方が面積的には小さいんですよね。ほんで市長も1ページ目のコメントで、みんな議員数が変わりましたして、B地点でも違う場所に移したらどうかというような議員さんの意見が重視されまして、今、新しい病院という話が出てるんですけども、その裏面に、市長の裏面に、駅前のB地区で新病院の計画等がありますが駐車場がわずか40台で車寄せもできないと、こういうようなことを書かれてるわけですよ。それなら、そのB地区で計画するのであれば、それを破棄して、今の新しい病院に体育館の裏ですよ。なぜそこで、その時点でそういう提案が市長としてですよ、ドンとして、ドンとしての提案ができなかったのか、その2点をお願いします。

【市長】

現地建替半額を断念したことに关しましては、誠に申し訳ございません。

【市民】

詫びてもうても困ります。

【市長】

いや、ここは詫びるしかございません。

なぜかと、それは先ほども申し上げましたけども…。

【市民】

知らんっていうんじゃ、ごまかしやろ…。

【市長】

静かにしてください、私が今お答えしてるわけですから。落ち着いてください。

現地建て替えを、本当はしたかったんです。できるだろうと…。

【市民】

そんなんいうても…。

【市民】

それも、うそや。

【市長】

私が今お話してるわけですから、ちょっと聞いてください。

現地建て替えはできるというふうに思っておりました。実際、建築技術的にはできるということで、建築部会からはおっしゃっていただきました。ですけども、医療部会からは運営をしながら建替は非常に厳しい、困難であるということと言われて、本当に苦渋の選択というんですか、苦慮しました。このまま無理に進めていいものかどうか。しかし、現地で働いておられる医療の皆さん、医療関係者の方々から、それは無理だと言われ、そしたら本当にこのまま進めていいのかなということで。それと早く整備をしなくてはならないという大前提のもとで、これは、もう場所を変えるしかないなということで、現地建替を断念したということです。これ何回もご説明させていただいてるんですけども・・・。それで私は判断をいたしました。

Bブロックでというのは、これも先ほど来、ご挨拶の中でも申し上げましたですけども、昨年の5月の財政状況等々を見まして、駅前以外に場所を変えらなければ、一括繰上償還という、借入金の一括繰上償還という問題があって、これが大きいのし掛かってきて。その当時は、野洲市にそれだけの、一括償還するだけの財源がなかったということが一番大きなことでございました。

そういうことなど、いろいろございまして、Bブロックで整備をすることに。これが一番最良かその時は判断でさせていただいたんですけども。40台しか駐車場がなかったというのも。今笑われた方もおられますけども、もっとできると、私は最初聞いておりましたので。

【市民】

最初ばかりですよ。

【市長】

だから最初聞いて、それで整備をする方向をしめし、課題は多いということ、最初から申し上げてたわけですから、その課題の解決ができなかったということでございます。

以上でございます。

【小池】

■さんちょっと2回ですので、先に1回目の方。

【市民】

三上の■です。先ほどから私ね、説明聞かせてもらって、そのうちにね、私一番前にね、座っておられる■さん、小柄な華奢な方がね、もう終始一貫してね、駅前建設を訴えて頑張っておられるのに、私もね、■先生頑張ってきてます。そして何度かね、集会にも出させていただきました。

その時には市長の挨拶聞いて、その度におっしゃることは…、今いいかけましたけど…、みのたけ、思い出した、みのたけ。ひらがなの4文字。みのたけにあった市政に取り組んでますとか、そういうことずっと聞いてきました。どんなみのたけか知りません。

なるほど、外観は立派です。ですけど市政、行政に対する理念、行動、責任、それは■さん以下です。薄く細いです。本当にもっと、私が腹が立ったのは、先ほど■さん■さんがおっしゃってくださった通り、選挙で当選した、選挙のときの公約、駅前には病院は建てません、駅前病院反対で当選したと仰いました。それに本当にむかついて腹立って。それに票を入れた市民にも腹立ってます、私は。

それで、その時に当選はしても、その後これだけ皆さん本当にね、■さん筆頭にね、やっぱり何としても駅前に病院建てて欲しいいうね、意見の言うか、支持がものすごく深まっているんやから、その時に、一時的に当選しても、やっぱりそんなときは当選したまたまたましたけどもね、やっぱり駅前にこれだけ病院建てて欲しいいう意見があるし、皆さんが必要である希望いうか理念も、なるほど、理にかなったことを言うておられるかなと思って、方向転換されてもよかったのかなと思います。

先ほどの説明聞いてると、本当に私ね、上手に説明されてね、もう洗脳されるからね。もう本当に私ら、駅前の病院ずっと頑張ってきました。ですけど、あっ、良かったかな、体育館の傍でも良かったかな、なるほどなと思ひ込みかけました。本当に、上手に説明されたけど。それはあくまでも反対です。

私が言いたいのは、みのたけ。ひらがな4文字。同じ4文字使うんだったら、あの市民に信頼される、責任ある、そして誠意じゃないわ、いや4文字使ったね、市政行政を図るいうか、実行していただきたいです。

ごめんなさい、興奮してちょっとまとまっておりませんが、よろしくお願いします。

【小池】

それでは次の方。お待ちください。

【市民】

初めに、駅前に病院をということで、嬉しいなと思いましたが。近江富士の■■■■と言いますが。

駅には文化ホールは残していただけるものと思っておりますし、それに病院で、病院ができればね、本当は今の時期だから、お見舞いのお客さん、お見舞いはいけないのかもしれませんが、今後行けるようになったら、本当にお見舞い来てくれると嬉しいんですね。

それで、そのときにお茶したり、お茶飲んでとか、ちょっと外に出て何か食べようとか。そういうにぎわいを、病院を造った上で、その辺りに作って欲しかったんです。駅前に。

それと、私などは、野洲には、本当寂しいなと思っておりますけど、電車に乗ってお見舞いに来てくれるとすればね、済生会でもなんと不便なところなのって言われるんですね。そんなもんですから、立派な病院が駅前にあって、その周りに小さなお店もあってというにぎわいを望んでいたんです。ところが向こうに行きますと、そういうのを作ってくださるんでしょうかね。

それと、まだありますよ。結構ね、病院で静かなところにいるとね、なんか寂しくなるんですね。だから電車が来るのを端から見たり、そういうのも結構、それと、リハビリテーション科があるわけでしょ。そしたら、元気な人がいるわけだから、なんかにぎやかなところの方がいいんじゃないですか。あんまり静かなところでも寂しいかな。

私もこんなところで失礼致しますが、そういう意見です。

【小池】

順番にいきますね。帽子かぶっておられる方。

【市民】

すいません、北桜の■■■■といます。

どうも皆さん、反対の意見と、市長攻撃の意見が相当あると思うんですけど、私はとにかく、早く造ってほしい。私、今73歳です。視覚障がいです。止まることなく、視覚障がいになっております。この状態ではいつまでもつか、お陀仏くんになるかわかりません。狭心症もかなりひ

どいです。もう病院を建てる建てる言うて、10年が経過しております。反対、賛成、意見もあると思います。特に野洲駅前にお住まいの方が、反対されておられるのも理解できるし、地元が反対するのにそこに建てるというの。それにまた、この地域は文化ホールなどがあった関係で、文化ゾーンにもなってるので、野洲市の基本計画の中に文化というのは入っておると思います。病院は入ってないって思います。

当然、駅周辺は賑やかな方がいいんです。現在、私、済生会に五つの科の科目の病院外来をしております。全部タクシーです。帰りは、病院ですか、その薬局じゃないんですけど、無料で送迎、送って帰ってきてもらっております。そういう便宜も図る薬局もあります。

確かに、買い物とか何かするにも、何にもありません。でも入院もしたけれど三上山も見えるし。たまに前を見たらお墓も見られるし。あそこへ入れるのかなと、いろんなことを私なりに楽しみました。

ただ言えるのは、決めたら早く建てて。もうこれで落ち着くんならもう建てて。議員さん、ええ加減に建てて。賛成する人は、とことん賛成してください。反対のやつは、とことん反対してください。それで議決というものが、民主主義で生まれるはずです。誰々がこう言うた言うたとか、言っていないで、一刻も早く、富波甲のあの敷地に、建ててください。

ただ、体育館の職員や、また今言っておられる食べ物屋がない、コンビニもない、花屋もないことも配慮しながら、職員さんのお住まいされるアパートはどこに建てんの、その用地はあるのとか、そういうことも含めてと検討して、一刻も1秒も早く建ててください、富波甲に。三上学区の皆さん方、ごめんなさい。裏切り者です。

【小池】

ではすいません、順番に行きますね。

【市民】

近江富士の■■■■です。私、元々駅前のブロックがいいかなと思ってたんですけども、この間、文化3施設の集約の話のときに、文化ホール、潰しちゃうよという話も出て、さざなみホールにしちゃうという話がありました。そのときついでに聞いたときに、今の文化ホールも古いから、もし立て直すとしたりしても、同じ規模のものはできないと。最近の仕様に基づいたホールでやると、もっと少なくなっちゃうと。それは困るなど。

で、そういう千人規模のホールがない市っていうのは、滋賀県に今一個もなくて。野洲市が初めてになる。とっても恥ずかしい市になります。

で、今回、病院を体育館の横に持つていくことと同時にですね、駅前のところ、広く活用できるのであれば、文化ホールを建て直して、恥ずかしくないような市にできればなと思いました。

ということで、その辺含めてですね、今の体育館横ってのはなかなかいいのかなと思ってます。当然、いろいろ反対されることを伝える方多いと思いますけれども、さっき■■■さん言われたように、とにかく早い方がいいと思いますので。いろいろさっきの、今の文化ホールのことも含めて、ご検討をよろしくお願いしたいと思います。

【市民】

すいません、三上の■■■と申します。

私も病院の造るにあたっては、早くからちょっと関わったりして、本当にAブロックにできたらいいのになというふうに思っておりました。いろいろの意見も出ましたけれども、やはり、今まで野洲市の土地ということで、野洲市の土地に建ててほしいという思いが一番あります。

市長の公約を聞かしてもらいました。やはり、市長選に出るときの公約だからってということで言われておりますけれども、コロコロ場所が変わってくるので、今、本当に私達の周りの方、市民の方は、本当にできるのかということと、それから市民の土地に何ができるのかというのが、一番聞きたいというふうにも言っておられますが、今の説明の中では、簡単にその土地を、これからの病院を造る、財産にするというふうに言われておりますし。

一番聞きたいのは、皆さん思ってもらえるのは、Aブロックに何ができるんやろうな、どういうふうになるんやろ、まちづくりはどういうふうになるんやろう、という思いが、一番皆さん思っておられますし、本当に早く病院を建ててほしいという声も、もう多々あります。絶対、野洲市の駅前に建てて欲しいという声を聞いております。

一番知りたいのは、いろいろ場所は変わりますし、野洲市のAブロックには、どんなものが建つか。そういうことが私は一番聞きたいです。

【赤坂】

ただいまご質問いただきました、現在の駅前ですね。病院の整備が今回説明した形で提案させていただきまして、これが実現することになりますと、駅前に病院機能はなくなる。そのあとAブロックですね、この部分はどういうものが整備されるのかというご質問と思っております。

それにつきましては、今日に至るまで、遡ること平成24年から駅前全体の3万2000㎡でございませぬけれども、そこをどうするのかということ、関係機関、それから市内の団体、市民の代表さん、いろんな方入っていただきまして、検討いたしてまいりました。

これまでの検討では、駅前のAブロックに病院を整備することを前提に検討させていただきましたけれども、先ほど市長が答えの中で言っていましたとおり、選挙の公約でそこには建てない。建てなかったら何をするのかにつきましては、いわゆる複合商業施設という名称で呼んでおります。市が公の施設を建てるのではなく、民間から、あの土地でどのようなものを整備できるかの提案をいただきます。ただその提案は、民間がしたようにしていただきではなく、市がこのような機能は入

れてくださいと条件をつけさせていただいた提案であります。このご提案の中で一番良いものを採用して整備をする予定をしております。

そういう順番で、計画等を作るためには手続きが要るんですけども、その手続きを昨年来しております。けれども、病院の整備予定地が、駅前なのか、果たして今回提案したところなのかということがございますので、駅前構想の見直しを、今は止めているところでございます。

病院の整備地が確定した折に、今の予定では9月議会でございますけれども、9月議会に駅前構想の見直しを行うための予算を提案させていただいて、議会で認めていただきましたら、どのような提案を民間に求めて駅前を整理するのかを考えていきたいと思っております。

何がということになってきますと、市ではですね、元々交流の施設とか、あるいは広場とか、あるいは図書館の出先分室とか、いろんな機能を計画していたんですが、既に計画してから約8年目になります。その辺も含めましてですね、駅前の見直しを、その見直しを手がけるための予算を9月議会でお認めいただければ、進めさせていただき、積み上げていきたいと思っております。

【市民】

市民の土地なんですけど、市の土地をその事業に売るのは何かわかりませんが、他に利用してもいいのですか。

【赤坂】

駅前の土地、現在は借金をしてるような状態の市有地になっておりますけれども、あくまでその市有地につきましては、先ほど申し上げましたいろんな提案を受けさせていただきます。その提案が、買い取ってこういうような計画をします。あるいは長期で貸してください、あるいは通常の年ごとに貸してくださいなど、いろんな提案があるかと思われま。その提案に応じまして、場合によっては売却をする、あるいは長期借地とするというように考えております。

市の土地を売却してということなんですけれども、市の土地を売却するには、予算と一緒に、これはまた議会でお認めいただくこととなります。売却に当たりましては、その内容を議会に説明させていただいて、議会で議決という形でお認めいただくというようなこととなります。

【小池】

すいません、予定してて、だいぶ最初申し訳なかったですけど、9時を回っております。今1人当てさせていただきますけど、他はおられますか。すいません、ちょっとまだ1回も発言されてない方ってというのは…。

【市民】

よろしいですか。

【小池】

ちょっとお待ちください。1、2、3名様おられますので、4名様ですかね。順番に当てさせていただきますんで、どうぞ。

【市民】

行畑の■■■■です。お世話になります。

今、賛成の方、反対の方でいろいろご意見をお聞きしています。反対の方の意見も十分わかります。しかしですね、私も元議員を一時しておったんですけども。現在ね、地元に住んでおられる、駅前の方。この方が一番、反対多いんですよ。あそこに建つのが嫌だという。だから、この地区、近辺に住んでおられる方の意見をね、十分尊重すべきだと思います、我々が。私もね、実はね、駅から7分～8分のところに居るんです。中山道沿いに。朝、車で出るとはほとんどできませんよ。ボンボン車が走りまくるんですよ、とにかくあれで病院が駅前に来てもうたら、ましてや朝ね、一方通行なんです、中山道は。そうしますとね、山仲市長は全然、現状見とらんけど、前のときにね、一回、見に来てくれ言うたことがあるんですよ。ほんだら、もし患者さんが出た場合ね、救急車、あんなとこ走れるんかいなと。それはもう一番に疑問に思いました。

ほんでまずはね、駅前の方がどうして反対しておられるのかということで、皆さん本当真剣にお考えいただきたい。ただ反対だけじゃ、駄目なんです。やっぱり一番そこ近辺に住んでおられる方のね、やっぱり一番その意見を尊重しなければ。

まず第一にね、駅からぱっと降り立ったときにね、病院があるなんてのは、東海道沿線、どこにもありません。大概、草津にしたって八幡にしたって、全部遠いんですよ。守山にしたって、済生会から、総合病院ね。駅の近辺になると、まずないんですよ。駅をぱっと降りてね、一番困るのはね。この患者さんから、今現在野洲病院に入っておられる患者さんからも何人かお話し聞きました。ということはね、介護の人と一緒に手繋いでね、駅前ウロウロ周りをあまり歩けないと、恰好悪くて、杖ついて、そんなことできないだろうと。確かにそうだと思いますよ。

だから駅をぱっと降りたときにね、野洲の町が、これ、なんじゃ、病人の町かと言われるようなことは、僕は決してあってはいかんと思います。やっぱり駅前は、やっぱりもっと活性のある施設を持ってこんことには、野洲の発展に繋がりませんわ。

だからそういう意味で、やっぱり民間業者引っ張り込んでですね、あっこにも何とかしてやっぱり。一番僕は最初良かったのは、平和堂が来てくれたらよかったんだけどなと思ったんですけども、向こうに行きましたんでね。別に平和堂に限らなくても、そういう施設がいくらでもあるんですから。やっぱり民間企業に、もっともっと今の現在の行政の方が取り組んでいただいてね、接触いただいて、もっとそういう業者を引っ張ってもらわなあきませんよ。

あの総合体育館の横にね、確かに病院できれば、本当に野洲の中央ですわ。確かにおっしゃる通りで。そういう意味ではね、病院さんなんて、さっきのこれアンケートでもわかったんですけども、

8割方、皆、車で行くんですよ。地元の私が、本来なら私が、駅や野洲病院が一番近いんやから、本当に駅前にあつたら一番いいんです。その私が現に判断しとるんです。遠い方がいいんです。

駅前なんかを病院にしたら絶対、駄目ですわ。発展に繋がりません、野洲の。それまで大事に考えるんです。野洲全体のことを考えたら、やっぱり皆さんのお気持ちはわかります、反対の方はわかるんですよ、わからんことないんです。

しかし、やっぱり、その全体の将来を考えたら、やっぱりそのドーンとした大きい病院を造ろうと思つたら、遠い、広い敷地のあるところでね、また病院建つたら建つたで、その近辺にね。商店とかもできますわ、その後当然、何らかの。そのことを踏まえてね、将来展望を考えて、やっぱり皆さんお互い前に進みましょう。先ほどどなたか仰つた、病院、早く建つた方がよろしいですしね。いつまでも、いつまでもこんなことしてる場合ちゃいますよ。反対の方もあるけども、賛成の方もかなり野洲市に居られるんです。

それをちょっと頭の中に入れていただいてね。前回の選挙でもわかつたと思うんですけども、栢木さんが受かつたということは、病院は栢木さんの意見には賛成だという方が多かつたということなんです。そこら辺のところを踏まえてね、やっぱ十分、お互いに考えましょ。

もちろんもう一回ね、民主主義だから、反対の方の意見も賛成の方の意見も踏まえて、十分行政も考えていただいてね、前に進みましょう。いつまでもこんなこと、ちょっとあきませんわ。

よろしく願います。（拍手）

【小池】

事務局、3名さんに、順番に回してください。

【市民】

すいません、失礼します。近江富士の■■■■です。座らせていただきます。

私も、本当に初めAブロックでということ、考えていました。ただ、今日本当に勉強しに、こちらの場所にさせていただきました。

いろんなお話を聞いてて、また私は去年、滋賀医科大学に入院しました。その時、本当に入院してわかつたことは、周りに何もなくて景色がいい病院って、なんかすごく落ち着くなつていうことでした。

先ほどから、周りに食事のするところがないと困るっていうご意見もあつたと思うんですけども、本当にいろんな病院私も行きますけれども、病院の中に、食事をできるところや花を買うところはございました。

後ですね、今の市長さんに、ちょっとお願いしたいと思います。本当に最初公約をされた、今の病院、建てられるということで当選されました。それから、場所は B に変わり、今回体育館になつた。本当に住民の方、市民の方は、これとても良い案で説明されたけれども、またひょつとしてこ

れ変わるん違うかなっていう不安を持たれてる方、私の周りでもございます。本当に、反対の方の
リサーチをもとに、初めの意見ではなく、根拠をしっかりと持たれて、本当に自信を持って。もう新
しい野洲病院、苦肉の策でBって聞かしてもらったときに、そうか、結構苦労されたんだな、ととも
できないっていうのは、しんどかったらうなって。すごい正直に話していただいて、私はもう、
そういうことだったんだなって、ちょっと納得しました。

本当に、これから反対の方の意見をしっかりと聞いていただいて、本当にしっかりリサーチしてい
ただいて、根拠を持って、進めていただきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

【市民】

すみません、三上の■■■■といます。

先ほどですね、駅前の改革の件のお話し、聞かせていただきましたけども。9月から検討しますわ
というふうな話ですけども。私、行政よくわからないんですけども、一般企業にずっと勤めとった
もんで。一般企業ですとですね、普通いろんな部署があります。市役所にもいっぱい部署あります
よね。こんな、チンタラチンタラ9月からと言うとったら、一般企業、とうに潰れますよね。これ当
たり前なんですよ。

だから部署、部署があるんですから、市長も含んでですね、何ていうのかな、この9月を待たず
に、やっぱりこういう会を開くということは、反対も賛成も出るということなんでね、前もってね、
その部署でやっぱりこういう意見が出るやろなと推測して、ここにいるメンバーだけじゃなしにね、
僕は絶対いろいろいるはずなんですよ。だったら、こういう意見が出るから駅前はこうしようとい
う素案をせめて作っておかないとですね、私らからしたら非常にこの今の市の職員、それから当然、
市長、副市長には、もう不安しかないんですよ。本当にこの人に任しといていいのんという気持
ちに、今日この場で強く感じました。普段、私皆さんご存知だと思います。あまり発言しない方
ですけど、かなり腹立ちました。ということで、市の職員の方にもですね、ちょっと強い言い方しま
すけども、これ一般企業じゃ通用しません。次長か部長か知りませんが。そんな一般社員でも、
もっとまともな答え返しますよ。ちょっと生ぬるいん違いますか、全体的に。いろんな市議員さ
んいます、賛成、反対います。けど、それは素直に受け取って、何でかと、いう、一つ責めるんじ
ゃなしに、三つも四つの案を持って議論するべきじゃないんですか。そうでないと、前進しません
よ。だから10年もかかっているんですよ、これ。

だから、もう市の職員の方。ちょっと、もうちょっとですね、言いなりにならず、自分の道、
やっぱりある程度作るべきだと思います。そうでないと組織として強くなりませんよ。

という、ちょっとご提案です。

【小池】

すいません、もうだいぶ時間押してまいりました。最後1名になります。もう少し担当の者も残っておりますので、ご不明な点ありましたら、またよろしく願いいたします。

【市民】

すいません、あの三上の■■■■と申します。

実はAブロックのところに病院が建つという話から、ずっといろんな関わりをしてきました。また先日、文化ゾーンの関係で、文化ホールがさざなみホールの方に移管した形で、あそこを撤退するという形のことが考えられているということと。今回、これと私はもう相関関係にあると思ってるんです。

市長が今提案されたこの、あそこの体育館のところについて、どうなのかなってというのは、ちょっとできるかできんかってのは、一抹の不安もあります。と同時に、できるとしたら、もっと充実した何かを、具体的なものをそこにいろんな人がありますように、例えば商店街を、例えば飲食、お花屋さん、そういったこととか、介護とか、そんなこともひっくるめた中での、複合的なものを作っていくようなプランみたいなものも入れてもらえたら、あの周辺にもにぎわいも出てくるやろ。野洲文化ホールは潰すなら潰すで、もう仕方ないにしても、もう老朽化してますから。それ以外に、やっぱり商業施設に、にぎわいとしてやりたいというおっしゃるなら、私は逆に、歴史も繰り返してはならないと思うんです。

というのは、アサヒビールの土地を、市が買い取ったときに、アサヒビールに15億円、借金して払うてるわけですね。ところが、代替地をアサヒビールはもらいながら、金、いわゆる自分とこの土地やで念書も何もあるんやと言うんだと脅しみたいなもんで、15億円、市からとっとるわけです。

ところが、今度にぎわいを作ろうとするときに、逆に今度失敗したときに、また売ってしまうと、今度また、税金がね、どこへ消えてしまうたのってというようなことになってしまいかねない。

だからそういう二の轍を踏まない形の、きちっとしたやっぱり、100年の計を、やっぱり憂いを残さないものを、毅然とした形で基本的にきちっとしたものを作りながらね、野洲市の誇りはそこにあるというものを、ずっと持ってもらう形での施策を進めていってほしいなと。

このことについては、野洲の市民の多くはやっぱりね、こんな寂びれたまち、どうしようもないねっていうのが、多くの本音やと思うんですよ。だからもつとにぎわいのある、心のにぎわいを持てるようなまち作りをしてもらいたいというふうに思います（拍手）。

【小池】

ありがとうございます。皆様、たくさんのご意見賜りまして、長時間にわたりましてありがとうございました。

それでは最後に閉会にあたりまして副市長の佐野よりご挨拶申し上げます。

【副市長】

すいません、長時間ありがとうございました。

賛成、反対、厳しいご意見とか、様々な課題をいただきました。全ては、おそらくより良い病院を造っていきたいという皆さんの思いかと思えます。しっかりと受け止めさせていただきたいと思えます。

以上ありがとうございました。